

蜻蛉切と桑名江く明治から戦前の記憶く

令和2年6月セキレイ@ Wagtail W

明治から戦前の刀剣の展示記録を調査していると、ときに現在流布している来歴があやまっていることなどが見つかることもあります。また、系統的に調査することで旧大名家でも展示の多い家、ほとんど展示のない家などの特徴がわかります。本多忠勝を祖とする本多忠敬子爵からは比較的展示が多いのですが、特に蜻蛉切は大きな展覧会に頻出であることがわかり、人気のほどがうかがえます。

蜻蛉切の出陳の特徴としては、名刀を集めた展示会ではなく、大抵は兜を合わせて出品されており、「本多忠勝の兜と蜻蛉切」という価値を前面に出した展示会に多く出陳されています。一方、桑名江は展示の機会はそう多くはないのですが、本多家伝来ということに重きを置く展示ではなく、名刀を集めた展示会に出陳されているように見えます。

あまり広く知られていない展覧会等の記録もありましたので、誰かの研究や心の琴線に触れることももしかしたらあるかもしれないので私が調べた範囲内での記録をまとめておきます。

って、記録を色々見直していたら蜻蛉切と御手杵が同時に展示されていましたね。御手杵は蜻蛉切（大正4）とも日本号（昭和5）とも出会っていたのかあ。

表1.. 蜻蛉切の展示記録と同時に展示されていた著名刀剣。

明治22年 東京上野 東京開市三百年祭

本庄正宗

明治23年 東京上野 尚徳会古物展覧会

明治36年 大阪天王寺 第5回内国博覧会

大正4年 愛知岡崎 家康 両公三百年祭

忠勝 桑名江

大正4年 東京上野 江戸記念博覧会

御手杵

昭和29年 東京高島屋 秘宝名品展

不動行光・薄緑（長円）

表2.. 桑名江の展示記録と同時に展示されていた著名刀剣。

明治19年 東京遊就館 靖国神社春の大祭

へし切長谷部 江雪左文字

織田左文字

大正4年 愛知岡崎 家康 両公三百年祭

忠勝 蜻蛉切

昭和15年 東京遊就館 紀元二千六百年奉祝名宝日本刀展覧会

鶴丸国永・白山吉光・明石国行

亀甲貞宗・童子切安綱・大包平

大般若長光・江雪左文字・他多数

靖国神社春の大祭・遊就館展示

期日…明治19年5月5日～9日

場所…靖国神社境内遊就館

靖国神社境内の遊就館において、靖国神社の春と秋の大祭にあわせて諸家の名刀が展示されています。特に明治19年より今村長賀が館長となつてからは多くの名刀が展示されています。

【読売新聞明治十九年五月六日】^[1]

靖国神社例祭につき五日から九日まで遊就館に陳列の品。

徳川家康公佩刀江雪左文字の刀(徳川茂承君||紀州家)、

池田正宗の刀(徳川義禮君||尾張家)、

庄切り長谷部の刀(黒田長溥君)、

織田左文字の刀(井伊直憲君)、

桑名郷(本多忠敬君)、

他。

注記…明治十九年当時の黒田家の当主は長成だが、長谷部の出陣者は先々代の長溥になっている。織田左文字は、関東大震災で焼身となりその後再刃されている。2009年佐野美術館のREBORNで展示。

東京開市三百年祭

期日…明治22年8月26～28日

場所…東京上野美術協会列品館

天正十八年(1590)、豊臣秀吉の小田原攻めにより北条氏旧領であった関東に徳川家康が移封されてより三百年を記念して上野不忍池畔にあった馬見所(競馬場)において祝典が開催された。このとき、併せて上野美術協会列品館において三日間展覧会が開催されており本庄正宗や蜻蛉切をはじめとする武器等も出展されていた。徳川吉宗以降の徳川將軍のレガリア宝刀ともいえる本庄正宗の展示は非常にレアである。(本庄正宗は戦後の○田○の刀狩りに関連して行方不明となっている)図1、2にこの展覧会の時の本庄正宗、蜻蛉切の図を示す。ちなみに、この祝典の委員長は榎本武揚だった。

【東京開市三百年祭記事】^[2]

明治二十二年八月二十六日東京開府三百年の祝典を挙ぐ
天正十八年八月朔日徳川家康公始て江戸城に入り此市街を開きし
より本年本日は恰あながも其第三百回の八朔に相当す
刀剣と甲冑の目録は以下の通り(抜粋)

本庄正宗

徳川家達

来國光

徳川家達

長光

徳川家達

無ノ字槍(相州廣光作十文字鎌槍)

秋元興朝

蜻蛉剪槍(三河住正真作)

本多忠敬

鹿角鋏形兜

本多忠敬

同上模造

田中宗確

他
長坂血槍九郎の槍

本多忠敬

尚徳会古物展覧会

期日…明治23年7月1日〜8月8日(当初予定より延期)
場所…上野公園内桜ヶ丘日本美術協会列品館

【官報明治23年7月7日】^[3]

上野公園内桜ヶ丘日本美術協会列品館を借用し本月一日より三十日まで尚徳古物展覧会を開設し徳川氏に因由ある古物を蒐集して衆庶の総覧に供する旨同会より届けてたり

刀剣類の展示品(交換あり)は以下の通り(抜粋)

蜻蛉剪の鎗・鹿角兜 本多忠敬

寺澤貞宗 徳川茂承(紀州家)

達磨正宗 井伊直康

藤四郎吉光短刀 徳川義禮(尾張家)

(尾張家には藤四郎の短刀複数あり。)

展示品の内容は官報に記載されているものを示した。国会図書館デジタルコレクションで「官報 尚徳古物」で検索すればヒットし、フリーで閲覧可能。また国会図書館デジタルコレクションの「図書館送信資料」にチェックし、「蜻蛉切」で検索したときにヒットする「少年園ヲ(ヲ)」(明治23年)^[4]には「尚徳展覧会」の章に続き、「蜻蛉切の鎗」が続くのでこの展覧会に出陳されたときの蜻蛉切の情報が得られるのではないかと思われる。

第5回内国勸業博覧会

期日…明治36年3月1日〜7月31日
(通期展示かは不明)
場所…大阪市天王寺今宮

【東京朝日新聞 明治36年2月10日】^[5]

●日本体育会の出品物 日本体育会は博覧会場内に一千二百余坪の地積を借用し体育に関する諸器械其他運動遊戯に属する各種の設備を完了し一般の観覧に供すると共に自由に之を使用することを得せしむる筈にて目下準備中なり。《略》殊に我邦古来の体育の有様之が奨励方法等を究め且つ美術歴史上の参考となるべき出品甚だ少なからず會長加納子爵の所蔵なりといふ古代薙刀及び金高蒔絵鞍鐙(之は子爵祖父加納遠江守が文久元年和宮関東へ御降嫁の節供奉総奉行を勤めたる恩賞として拝領せしものなりと)松浦伯爵の出品の流鏑馬諸道具一式公爵島津忠重氏出品の犬追物諸道具一式本多忠勝所用の蜻蛉剪とんぼきり槍(本多子爵出品)真田源太左衛門尉信綱差料の大太刀(真田伯爵出品)丹羽勘助氏介着領具足(丹羽子爵出品)大森彦七盛長着領腹巻(大森たよ出品)肥前天草の一揆に板倉伊賀守の佩せし陣刀(板倉子爵出品)等一々枚挙に遑いとまあらず。是等は体育奨励上大に興味ある物品にして傍考古学の資料となすに足るものあり。《略》

コンセプトはよくわからないが、日本体育会が博覧会において武器を出品。その中に蜻蛉切あり。

紀元二千六百年奉祝名宝日本刀展覧会

期日..昭和15年2月11日〜3月10日

場所..靖国神社遊就館

【紀元二千六百年奉祝名宝日本刀展覧会出陳刀図譜】 [9]

太刀 銘国永 鶴丸国永 御物

劍 銘吉光 (白山吉光) 白山ヒメ神社

太刀 銘国行 (明石国行) 子爵松平直頼

刀 無銘伝貞宗 龜甲貞宗 公爵徳川家正

刀 金象嵌銘義弘本阿 桑名郷 子爵本多忠昭

本多美濃守所持

太刀 銘安綱 童子切 子爵松平康春

太刀 銘安家 侯爵黒田長礼

太刀 銘備前国包平作 大包平 侯爵池田宣政

太刀 銘長光 大般若長光 伯爵伊東治正

太刀 銘筑州住左 江雪左文字 長尾欽彌

城和泉正宗、人間無骨(和泉守兼定)、くろんぼ斬(景秀)、一国

兼光、六股切(長義)、大三原、他国宝・重要美術品多数。

戦後は展覧会等あまり詳しく見ていないのですが手元にあつてあまりメジャーでないものから...

秘宝名品展

期日..昭和29年

場所..高島屋

(コピーが不十分で詳細わからず)

【読売新聞昭和29年7月4日】 [10]

由緒ある名品のほか、一般の要望に於えて主として通俗的に知られた人々の興味深い物語に富んだ遺品を一堂に集め(以下略)

主な出品内容

刀劍 有栖川宮御佩刀(則長) 堀部武備佩刀(備前康光) 加藤清6

正片鎌槍、賤ヶ岳七本槍(清正所用) 鉄砲切兼光(川中島謙信佩

刀) 長坂茶利九(血槍九郎) 所用槍、信長愛刀不動行光、蜻蛉切

槍(本多平八郎所用) 薄緑大刀(長円) 他。

(トリーハクにこの展覧会の目録[11]があるようですがそちらは未見。とりあえず新聞記事より)

参考文献

- [1][2][3] 読売新聞明治19年5月6日。
★大槻如電編、東京開市三百年祭記事、発行人大槻修二、明治23年。
★官報、明治23年7月7日、7月14日、7月21日、7月31日。
☆少年園、4、(23)、明治23年。
- [4] 東京朝日新聞 明治36年2月10日。
★家康忠勝両公三百年祭紀要、家康忠勝両公三百年祭事務所、大正4年。
- [7] 家康忠勝両公三百年祭記念写真帖、両公三百年祭岡崎協賛会、大正4年。(内容は未見。)
- 両公三百年祭の桑名郷の出品に関しては、[6]では確認できなかったが、ネットの情報から[7]にあることが確認。ただし原本の確認はできていない。
- [9][8] 江戸記念博覧会案内、江戸記念博覧会編、寺岡弥三郎、大正4。
★紀元二千六百年奉祝名宝日本刀展覧会出陳刀図譜、遊就館、昭和15。
- [10][11] 読売新聞昭和29年7月4日。
秘寶名品展目録、高島屋、読売新聞社、昭和29年。
- 国会図書館デジタルコレクションで閲覧可能なものに★(フリー)、☆(図書館送信)の印をつけている。

あとがき

ふだんのメインの調査は鶯丸です。鶯丸を調査・研究しているときにたまたま目にした情報などをちまちまとめたりすることもあります。メインテーマと比較すると本レポートは検証がガバガバに甘いですが必要な方面に情報が渡ればよいなと思ってネットの海に放流します。

みなさまの調査・研究や創作にお役立てできれば。

個人サイトやBOOTHでさまざまなレポート類をアップしております。ご興味があればどうぞ。

*鶯丸の来歴に関する全般

*小倉小笠原家刀剣関連

*厚藤四郎(田安家にあったという検証レポート)

*日本号とへしきり長谷部が新聞を賑わしていた記録

個人サイト「月日星」

<http://wagtail.chagasi.com/index.htm>

BOOTH

<https://wagtailw.booth.pm/>